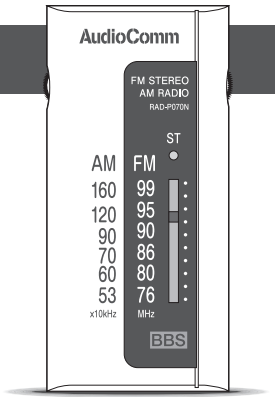


イヤホン専用FMステレオ/AMラジオ

型番 RAD-PO70N-W 品番 07-8791
RAD-PO70N-S 07-8792
RAD-PO70N-R 07-8793



このたびは、AudioComm® イヤホン専用FMステレオ/AMラジオをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みなられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

安全上のご注意

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使い方は火災や感電による人身事故につながる可能性があります。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。



警告

以下を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されますので必ずお守りください。

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに本機から乾電池を取り外す
 - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
 - ・煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。
- 万一、内部に異物や水などが入った場合は、使用を中止する
 - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 - ・販売店にご連絡ください。
- 本機を分解、修理、改造しない
 - ・火災・感電の原因となります。
- 屋外で使用中に雷が鳴り始めたら、すぐに使用を中止する
 - ・落雷や感電の原因となります。

- 浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない
 - ・感電や故障の原因となります。
- 車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない
 - ・交通事故の原因になります。
 - ・歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。
- 乾電池を取り外した場合は、小さなお子様乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する
 - ・乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。



注意

以下を無視して誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定されますので十分ご注意ください。

- 乾電池を挿入するときは極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示通り正しく入れる
 - ・間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の乾電池は使用しない。また、古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池（例：アルカリとマンガン）を一緒に使わない
 - ・乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない
 - ・落下による故障やけがの原因となることがあります。
- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
 - ・故障の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所に置かない
 - ・火災・感電の原因となることがあります。
- はじめから音量を上げすぎない。長時間、大音量で聴き続けられない
 - ・周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
- 落としたり、重いものを載せたりしない。また、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない
 - ・故障や破損の原因になることがあります。
- 電磁波を発生させる機器（携帯電話、テレビ、モニターなど）に近づけない
 - ・電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズの原因となります。
- 長期間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す
 - ・火災・液もれの原因となることがあります。

乾電池を安全にお使いいただくために 液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

	警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・取り外した乾電池を幼児に触らせない ・ショートさせない
	注意	・⊕⊖の表示通りに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・使用推奨期限内の乾電池を使用する ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

- 万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期にイヤホンを使用すると、耳にぴりぴりと痛みを感じるがありますが、これはイヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより影響が軽減されます。

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
 - (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ)本書のご提示がない場合
 - (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
 - (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼に出来ない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名		イヤホン専用FMステレオ/AMラジオ		★お買い上げ日： 年 月 日		
型 番		RAD-PO70N- W/S/R	品 番	07- 8791/8792/ 8793	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)	
お客様	ふりがな					
	★お名前					

修理メモ

販売店	★住所 店名 電話
⑩	

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

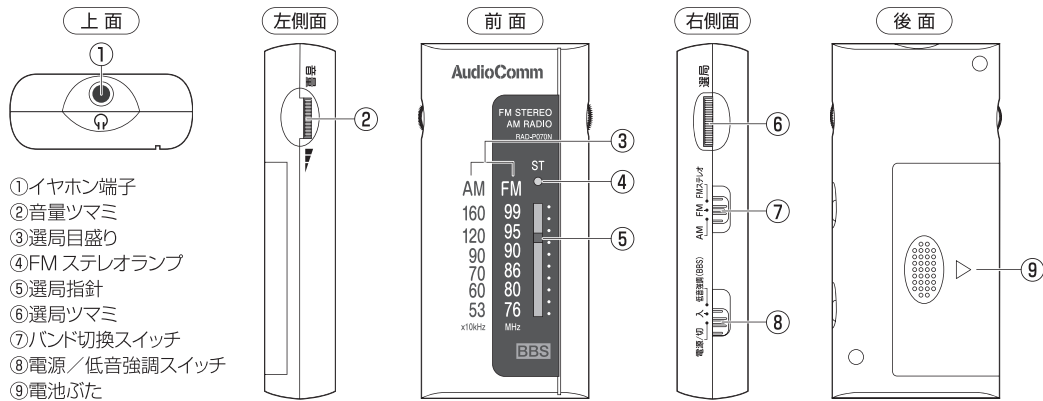
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

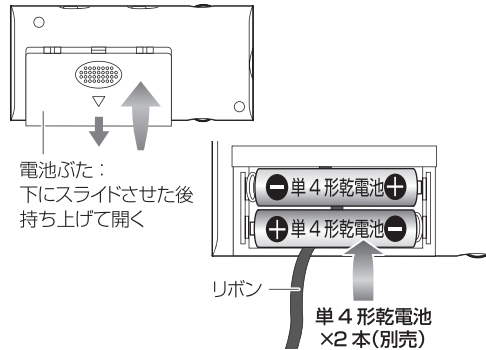
製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ
●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735
電話受付 平日 9：00～17：00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ
電話受付 048-992-3970 平日 9：00～17：00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

07-8791/8792/8793A

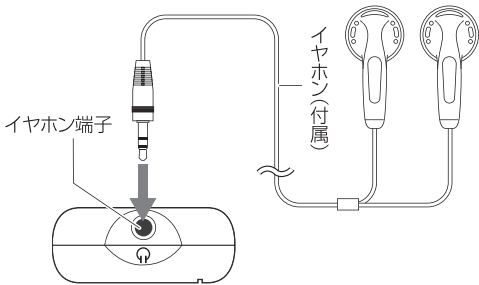


- ① 電池ぶたの  部を押しながら下にスライドさせた後、上に持ち上げて開けます。
 - ② 単4形乾電池2本(別売)を、
⊕と⊖の向きに注意しながら正しくセットします。
コイルバネのあるほうが⊖です。⊖側から先に装着してください。
 - ③ 電池ぶたを元通りにしっかりと閉めます。



- リボンの上から装着すると、乾電池を取り外すときに便利です。
 - 長期間使わないときは、液漏れを防ぐため乾電池を取り外してください。
- 

本機はスピーカーを搭載しておりません。また、FM 放送を聴くときは、イヤホンのワイヤーコードがアンテナの役割も兼用しています。ご使用時は必ずイヤホンを接続してください。



本機はFM周波数帯域が76～99MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。

FM 補完放送「ワイド FM」とは、AM 放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たに FM 放送用に割り当てられた 90.1～94.9MHz 周波数帯域を用いて補完的に AM 番組を放送することです。

FM 補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

- | | |
|-------------|---|
| 電源が入らない | ●乾電池は正しく装着されていますか。⊕⊖の向きは正しいですか。 |
| | ●乾電池が消耗していませんか。 |
| 音が出ない／音が小さい | ●イヤホンが正しく接続されていますか。 |
| | ●音量が最小になっていませんか。 |
| | ●電源は入っていますか。 |
| | ●正しく選局されていますか。 |
| | ●乾電池が消耗していませんか。 |
| 雑音が多い／音が悪い | ●乾電池が消耗していませんか。 |
| | ●近くで携帯電話を使用していませんか(携帯電話から離して使用してください)。 |
| | ●テレビや蛍光灯の近くで AM 放送を受信していませんか(テレビや蛍光灯から離して使用してください)。 |

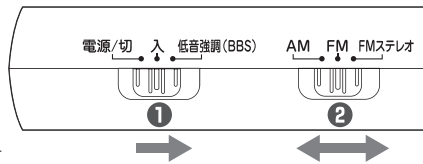
※必ず電源を切ってから行なってください。



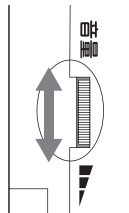
シンナー、ベンジン、
アルコールは
使用しないでください。

ご使用時は必ずイヤホンを接続してください。また、突然大きな音が出るのを防ぐため、電源を入れる前に、音量ツマミを回して音量を最小にしてください。

- ① 電源／低音強調スイッチをスライドさせて、「入」に合わせます。
 - ② バンド切換スイッチをスライドさせて、お聴きになりたいバンドに合わせます。
 - 「FM」は FM 放送をモノラル音声で、「FM ステレオ」はステレオ音声で聴くことができます。
 - 「FM」と「FM ステレオ」を切り換える際に、音声の途切れを感じるがありますが、故障ではありません。



- 3** 音量ツマミを回して、
耳に負担のない程度に音量を上げます。

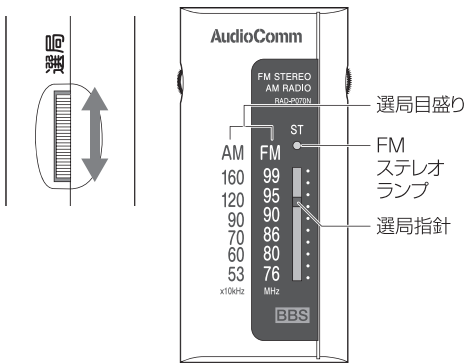


- 4** 選局ツマミを回して、お聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。

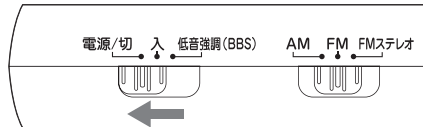
 - 選局目盛りと選局指針を見ながら操作してください。
 - バンド切換スイッチが「FM ステレオ」にあり、良好な状態で受信すると、FM ステレオランプが点灯します。

● 電源／低音強調スイッチを「低音強調 (BBS)」に合わせると、低音が強調された迫力ある音でラジオ放送を楽しむことができます。

● FM ステレオ放送を聴いているときにノイズが気になるときは、「FM」にしてみてください。ノイズが軽減できることがあります。



- 5** 終了するときは、
電源／低音強調スイッチを「電源・切」に合わせます。
- 電源・切 入 低音強調 (BBS) AM FM FMステレオ



受信状態を良くするには

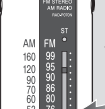
●AM 放送の場合

本機内にアンテナが内蔵されています。本機の向きを変えて最も良く聞こえるように調節してください。

●FM 放送の受信

イヤホンコードをできるだけ伸ばし、本機の方角、角度を変えて受信状態が最も良くなるように調節してください。

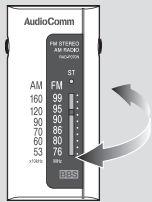
※テレビや蛍光灯の近くで AM 放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離れてご使用ください。



The diagram shows a vertical rectangular device representing a portable radio. At the top, it says 'AudioComm'. Below that, 'FM STEREO FM RADIO' is written. On the right side, there are two vertical scales. The top scale is labeled 'ST' and has a needle pointing to 'FM'. The bottom scale is labeled 'FM' and has a needle pointing to '95'. On the left side, there are two vertical frequency scales. The top scale is labeled 'AM' and has a needle pointing to '160'. The bottom scale is labeled 'FM' and has a needle pointing to '95'. Below the frequency scales, there are two small rectangular buttons labeled 'BASS' and 'TREBLE'. A large curved arrow points from the top right towards the bottom left, indicating a range of adjustment.

- AM 放送の場合

本機内にアンテナが内蔵されています。本機の向きを変えて最も良く聞こえるように調節してください。



- FM 放送の受信

イヤホンコードをできるだけ伸ばし、本機の方角、角度を変えて受信状態が最も良くなるように調節してください。

※テレビや蛍光灯の近くで AM 放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離れてご使用ください。

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び販売店、お買い上げ年月日などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。